

令和7年度 第2回 学校評価アンケート 結果及び改善策、方針等

下欄の 児:児童(4~6年) 保:保護者(全体) 職:教職員 色つきの項目:評価80%未満 重点的な対応が必要な項目	そう思う + 大体そう思う		今後に向けての改善策、学校としての方針等
	第1回	第2回	

I 教育課程・学習指導

児	あなたは、授業で「わかった。できた。なるほど」と思うことがありますか。	95%	90%	学校現場では、「一斉型の講義を受けるだけの受動的な学び」から「能動的で他者と協働した学び」(主体的・対話的で深い学び)への転換が進められています。坂東小学校でも「つかむ(学主課題の把握)→自分で考える(課題追求)→みんなで考える(発表・比較・検討)→まとめる(まとめ・活用問題)」という「坂東スタイル」での授業を実践してきました。また、今年度はさらに原点に立ち戻り、基礎基本の定着にも注力してきました。教師一同、研修を通じて授業力向上や授業改善に努めており、児童の授業満足度は高い数値を保っています。一方で、保護者の皆様からは、さらなる質の向上を期待する声をいただいています。今後も、子供たちが「学ぶ楽しさ」をより実感できる魅力ある授業を追求していきます。ご家庭でもぜひ、お子さんと「なぜ学ぶのか」「学ぶことの大切さ」について語り合う機会をつくっていただければ幸いです。
保	お子さんは「授業がわかりやすい」「授業が楽しい」と感じていると思いますか。	81%	82%	
職	児童の学びの実態を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めていますか。	100%	100%	

児	あなたは、授業でタブレットや電子黒板を使うと、勉強が分かりやすいですか。	88%	83%	GIGAスクール構想により一人一台端末が整備され、現在はICT機器をいかに効果的に授業へ取り入れるかが重要となっています。ICTの活用は、児童の学習意欲の向上だけでなく、理解の深化、思考の拡張、表現力の向上に大きな効果を発揮します。本校では校内研修を重ね、「日常的な活用」から「効果的な活用」へとステップアップを図ってきました。今年度は学習クラウド「スマイルネクスト」を導入し、一人一人の習熟度に応じた「個別最適な学び」の実現にも努めました。今後は今年度の実践を検証し、さらなる授業改善に繋げるとともに、家庭学習におけるICT活用の充実も目指していきます。
職	ICT機器を効果的に活用した授業づくりに取り組んでいますか。	88%	100%	

児	英語の授業では、歌を歌ったりクイズをしたり、英語で話したりして、授業が楽しいですか。	87%	87%	伊勢崎市が誇る教育の特色の一つに「英語教育の充実」があります。市内全小学校が文部科学省の「教育課程特例校」に指定されており、本校でも全学年で週2時間の英語授業を実施しています。他市区町村と比較しても圧倒的な学習量を確保しており、その内容は「伊勢崎市小中一貫英語力向上プログラム」に基づいた、義務教育9年間を見通した系統的なものです。小学校段階では、まず「英語での表現に親しむこと」に主眼を置いています。本校の児童も、毎時間の活動に非常に意欲的で、楽しみながら表現力を高めている姿が印象的です。引き続き、中学校への確かな橋渡しができるよう、一人一人が自信を持って英語を使える授業づくりを追求していきます。
職	英語の授業で、音声やリズム、文字に慣れ親しませ、伝え合う楽しさや自己表現できたという達成感や成就感を味わえるようにしていますか。	80%	93%	

職	単元末テストや各種学力検査の結果を指導に活かしていますか。	100%	94%	学校は、テストの結果を「学習の到達点」ではなく「次へのスタートライン」と捉えています。点数という数字の裏側にある、一人一人の課題や強みを丁寧に分析し、明日からの授業づくりに反映させています。全ての児童が「分かった」を実感できるよう、今後もデータの活用と授業の質の向上を両立させていきます。
---	-------------------------------	------	-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

児	あなたは、家で学習や読書をしていますか。	69%	62%	学校では、宿題の提示にとどまらず、授業を通じて「学びの楽しさ」を実感させることで、自発的な家庭学習につなげたいと模索してきました。しかし、現状では学習習慣が定着していない児童も多く、保護者の皆様も同様の不安を感じていることが結果から分かります。今後、学校では「何を・どう学べばよいか」という具体的な学習の進め方をより丁寧に指導し、子供たちが迷わず家庭学習に取り組めるよう改善を重ねていきます。また、習慣化には、ご家庭での「環境づくり」と、保護者の方からの「温かな声かけ」が何よりの支えです。特に小学校期は、大人が関心を寄せることが、子供の大きな意欲へと繋がります。ぜひ「なぜ学ぶのか」をご家族で語り合い、学びを支えるパートナーとして、引き続きご協力ををお願いします。
保	お子さんには、家庭で学習や読書をする習慣が身に付いていますか。	60%	62%	
職	家庭で自主的に学習や読書をする習慣が身に付くようにする手立てを工夫していますか。	73%	69%	

II 生徒指導

児	あなたは、学校であいさつや返事をしていますか。	91%	89%	「あいさつ・返事」ができ、場に応じた行動が取れる子供の育成は、本校の最重要目標の一つです。あいさつは人間関係の土台であり、校長からの講話や、学級委員による毎朝の「あいさつ運動」を通じて、その大切さを伝え続けてきました。活気あるあいさつができる児童は着実に増えていますが、一方で、丁寧な言葉遣いや場に応じた振る舞いについては、まだ課題も残っています。礼儀の習得には、日常的な反復と「モデルとなる大人の存在」が欠かせません。学校ではマナー教育の充実にも努めていますので、ご家庭におかれましても、身近な家族間でのあいさつを大切にするとともに、相手を敬う心についてお子さんと語り合う機会をもっていただければ幸いです。
保	お子さんは、あいさつをしたり、場や相手に応じた言葉をつかっていますか。	73%	75%	
職	あいさつや返事などの基本的な生活習慣や適切な言葉遣いが身に付くよう、適切な指導に努めていますか。	100%	100%	

児	いじめがあった時や困った時など、先生に伝えると、相談にのってくれますか。	90%	90%	本校の教育目標「すすんで学び 思いやりのある たくましい子供」の実現に向け、校長講話や日々の情報共有を通じ、一人一人に寄り添った指導に努めてきました。しかし、アンケート結果等から、相談や連絡のしにくさを感じている児童・保護者の皆様がいらっしゃることを重く受け止めています。今後は、学級活動や体育の時間に「SOSの出し方に関する教育」を実施し、自分を大切にすることや、不安な時の伝え方を具体的に指導していただこうと考えています。また、学校Webページや通信を通じた積極的な情報発信を行い、本校の考えや状況を透明化することで、皆様に安心してご相談いただける学校づくりを推進します。お子さんのことで気になることがあれば、どんな小さなことでも遠慮なくお聞かせください。
保	学校は、お子さんのことで連絡や相談がしやすいですか。	83%	87%	
職	児童の悩みや問題などの実態把握に努めたり、情報を共有したりして、指導に活かしていますか。	100%	100%	

見	あなたは、友達となかよくでき、学校生活を楽しく送れていますか。	92%	95%	本校には外国にルーツを持つ児童が100名以上在籍しており、全校児童の約25%を占めています。多様な文化が日常にある環境の中で、子供たちは自然に互いを受容し、垣根なく共に学校生活を楽しんでいます。この共生の土壌こそが、相手を思いやる「優しい心」を育む本校の大きな財産です。その一方で、集団に馴染むことに難しさを感じる児童もいます。一人一人の特性をきめ細かく把握し、誰もが「自分の居場所」を実感し、役割をもって活躍できる集団づくりを追求していきます。さらに道徳教育を充実させ、礼儀や友情、公正・公平の精神を養うことで、差別や偏見、いじめを許さない、真に豊かな心をもった子供たちを育てていきます。
保	お子さんは、友達となかよくでき、学校生活を楽しく送っていますか。	91%	94%	
職	教師と児童、児童間での好ましい人間関係づくりに努めていますか。	100%	100%	

Ⅲ キャリア教育

見	あなたは、自分の目標や将来の夢について考えていますか。	86%	74%	キャリア教育とは、子供たちが将来、自分らしく生きていくために必要な能力や態度を育む教育活動です。小学校段階から「どんな自分になりたいか」をイメージし、そのために「今、何をすべきか」を考え、実行する力をつけることが大切です。アンケート結果では、将来の夢や目標を持っている児童が、まだ少ない現状にあります。学校でも、学ぶことや働くことが自分の未来を豊かにすると実感できる働きかけを行っています。ぜひご家庭でも、保護者の皆様が「仕事を通じて感じている喜びや苦労、目標をもって生きることの大切さ、お子さんに語り聞かせてあげてください。身近な大人の姿を知ることが、将来の夢を描く第一歩となります。
保	学校は、様々な学習や活動を通して、お子さんが目標をもったり、将来の夢について考えたりできるように指導していますか。	81%	83%	

見	あなたは、自分の目標や将来の夢、卒業後の進路について、家族と話すことがありますか。	61%	61%	本校では、小学校から高校までの成長を記録する「キャリア・パスポート」を活用し、自分らしさや将来の生き方について考える活動を行っています。これは、過去の自分を振り返り、自らの成長を実感するための大切な「自分だけの記録」です。現在の状況を分析すると、目標をもつことができていない児童は一定数いるものの、それをご家族に共有するまでは至っていない現状があります。小学校段階でのキャリア教育において、最も強力な支援は「身近な大人による承認」です。キャリア・パスポートは学校だけで完結するものではなく、ご家庭との対話を通じて完成するものです。持ち帰った際には、ぜひ内容を一緒に眺めてみてください。子供から進路の話を持ち出すのは照れくさく、難しいものです。保護者の皆様から「こんなことが好きなんだね」「ここを頑張ったんだね」と、きっかけを作っていたければ幸いです。保護者だからこそかけられる励ましの言葉が、お子様の自己肯定感と未来への前向きな力になります。
保	お子さんの目標や将来の夢について、家族で話し合うことがありますか。	79%	77%	
職	児童が自らの目標や将来の夢について考えられるよう、家庭にも働きかけながら、キャリア教育の実践に取り組んでいますか。	94%	94%	

Ⅳ 健康な体づくり・学校安全・危機管理

見	あなたは、感染症や熱中症に気を付けながら、休み時間に運動や外遊びをしていますか。	70%	60%	学校が最も大切にすべき使命は「子供の命と安全を守り抜くこと」です。本校では施設等の安全確保に加え、熱中症や感染症への対策に万全を期しながら、体力向上のための機会を積極的に創出しています。アンケート結果では、夏場の熱中症警戒アラートや冬場のインフルエンザ流行に伴う活動制限の影響もあり、運動に親む児童の数値は一時的に低くなっています。しかし、気候の良い日には、多くの児童が校庭を元気に駆け回っており、本来はどの学年も運動や外遊びが大好きです。特に夏季には、体育館のエアコンを活用し、暑さ指数(WBGT)が高い日でも学年ごとのローテーションで体育館を開放するなど、安全に動ける場を確保してきました。運動や外遊びは、体力だけでなく積極性やコミュニケーション能力を育む貴重な時間です。今後も季節に応じた安全対策を講じながら、子供たちが生き生きと活動できる環境づくりに努めています。
保	学校は、感染症や熱中症の防止対策を取りながら、お子さんが運動や遊びに親しめるように、健康な体づくりに取り組んでいますか。	92%	91%	
職	感染症や熱中症の防止対策を取りながら、運動に親む機会を保障したり、体力を向上させる取組を行ったりしていますか。	88%	100%	

見	あなたは、好き嫌いをしないで3食食べるなど、健康的な食生活を送っていますか。	81%	80%	「食育」とは、様々な経験を通じて「正しい食の知識」と「選ぶ力」を育み、生涯にわたる健康の土台を作る教育です。本校では給食の時間を中心に、学力や体力の向上にもつながる食育を推進して来ました。しかし、アンケート結果からは、児童の約2割、保護者の皆様の約3割が「健康的な食生活を送れていない」と感じていることが分かりました。お忙しい毎日の中、食生活を整える難しさもあるかと拝察いたしますが、まずは「1日3食」のリズムを大切にしてください。特に朝食は、1日の脳と体のエネルギー源です。朝食を抜くと、集中力の低下や心の不安定さ、体力低下を招くことが分かっています。食育の基盤は日々の家庭生活にあります。お子さんの健やかな成長のため、十分な睡眠と朝食の確保など、改めて生活習慣の見直しにご協力をお願いします。
保	お子さんは、好き嫌いをしないで3食食べるなど、健康的な食生活を送っていますか。	62%	70%	
職	学校給食と関連付けて、食に関する指導を行っていますか。	94%	94%	

見	あなたは、交通ルールを守って、歩いたり、自転車に乗ったりしていますか。	97%	96%	毎年、年度初めには1年生と4年生を対象とした「交通安全教室」を実施しています。警察署員や交通指導員、そして保護者の皆様の多大なるご協力のもと、1年生は歩行訓練、4年生は自転車の安全な乗り方を体験を通して学んでいます。交通事故、とりわけ車両との事故は、かけがえのない命を脅かす重大な事態に直結します。「自分の命は自分で守る」という意識については、校長からも集会等の場で繰り返し訴え続けてまいりました。おかげさまで、今年度は登下校中の交通事故が一件も発生しておらず、児童の交通安全への意識が定着していることは大きな安心材料です。今後もこの「事故ゼロ」を継続できるように、ご家庭や地域と密接に連携し、一人一人の安全を守る教育を粘り強く展開していきます。
保	学校は、家庭やPTA、地域と連携して、交通安全指導や通学路の点検・パトロール、不審者対策など、お子さんの安全対策を行っていますか。	84%	86%	
職	学校安全計画や危機管理マニュアルのもとに、自然災害、交通安全、不審者対応、学校事故等の対策について、安全教育を適切に行っていますか。	100%	95%	

Ⅴ 特別支援教育

職	特別な配慮を必要とする児童の情報を教職員間で共有するなどして、適切な指導が充実するよう努めていますか。	100%	95%	「特別な配慮を要する児童」とは、集団生活や学習において、一人一人の特性に応じた教育的ニーズをもつ子供たちを指します。これは決して特別なことではありません。誰にでも個性があり、場面によって「学びにくさ」や「過ごしにくさ」を感じるものは、ごく自然なことです。「子供にとって最善の教育とは何か」を常に問い直し、すべての子供が笑顔で学校生活を送れる環境づくりを追求してきました。個々の特性を「困ったこと」ではなく「その子らしさ」として捉え、一人一人に最適な指導と支援の充実を努めていきたいと考えています。
---	-----------------------------------------------------	------	-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

VI 組織運営

職	学校経営上の課題を理解し、学校経営の方針や本年度の努力点を踏まえて、教職員が一体となって努力していますか。	89%	95%	本校の教職員は、子供たちの成長のために情熱と愛情をもって日々の指導・支援にあたっています。一人一人が自身の役割に責任をもち、誠実に業務に取り組み姿は、保護者や地域の皆様の信頼に十分応えるものと自負しております。校長として、教職員が同じ志をもって教育活動に邁進できるよう、経営方針の浸透と課題の明確化に努めてきました。同時に、教職員が心身ともに健康で、ゆとりをもって子供たちと向き合う時間を確保することは、教育の質を保つための喫緊の課題です。そのため、会議の精選や業務の効率化といった働き方改革を推進しており、少しずつ成果が表れてきています。もちろん、子供たちの成長に直結する「大切にすべき活動」については、これまで以上に力を注いでいきます。削るべきは削り、深めるべきは深めるというメリハリを大切にすることで、学校全体の教育力を高めていきたいと考えていますので、今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いします。
職	主任を中心に、各学年、各教科、各分掌で、組織的・計画的な運営が図られていますか。	89%	100%	
職	設定した自己目標の達成に向け、主体的に日々の教育実践に取り組んでいますか。	100%	100%	
職	諸会議の議題の精選や進め方の工夫等により、会議の効率化が図られていますか。	94%	83%	

VII 研修

職	各種の指導資料を活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた校内研修の推進が図られていますか。	88%	94%	本校では、校内研修の主題を「基礎・基本を身につけ、主体的に取り組む児童の育成～ICTの効果的な活用を通して～」と定め、日々の授業改善に取り組んできました。端末を効果的に活用することで、確かな学力の定着（基礎・基本）を図りつつ、子供たちが自ら学びを深める「主体的な学習」の実現を目指しています。子供たちのために、教師も指導力の向上を目指し、日々研鑽を積んでいます。学校Webページの「活動の様子」では、教職員が共に学び合う研修の様子も随時発信しております。学校の舞台裏での取り組みもぜひご覧いただき、本校の教育活動へのご理解を深めていただければ幸いです。
職	研修推進委員会や各部会が機能して、校内研修が計画的、効果的に進んでいますか。	94%	94%	

VIII 家庭や地域との連携・協働

児	あなたは、学校からのお便りを家の人に渡していますか。	89%	86%	学校からの配布物については、毎日お子さんに確認し、目を通していただけると幸いです。各学年発行の「学年通信」では、学習予定や持ち物、集金などの重要なお知らせを、学校通信「坂東太郎」では、学校の指導方針や子供たちへの思いをタイムリーにお伝えしてきました。また、Webページ「坂東小学校日記」では、日々の何気ないシーンを通じて、学校の空気感をお届けできるよう毎日更新に努めています。これらの発信を通じて、学校の様子が少しでも伝わり、学校を理解し、応援してくれる方がますます増えていくと願っています。もし「もっとこんな情報を知りたい」「ここが分かりにくい」といったご要望がありましたら、ぜひ貴重なご意見をお寄せください。皆様とのより良い情報共有の形を、共に築いていきたいと考えています。
保	学校は、お便りや学校Webページなどで学校の教育活動や子供の様子を分かりやすく伝えていますか。	93%	96%	
職	保護者や地域に対して、学校の情報発信に努めていますか。	100%	100%	

職	事故や問題が生じた際、保護者への連絡・対応を迅速かつ確に行っていますか。	100%	100%	事故やトラブルがないことが最善ですが、万が一ご家庭の協力が必要な事態が発生した場合には、迅速に連絡を取り合い、最優先で対応するよう努めています。そのため、緊急時には仕事先などへお電話をさせていただくこともありました。「最悪を想定して最善を尽くす」という危機管理の観点から、初期の段階で早めにご相談させていただくことがありますが、何卒ご理解をお願いします。「こんな些細なことでも…」と思われるような事柄であっても、丁寧な情報共有が大きな安心に繋がると考えています。引き続き、ご協力をお願いします。
---	--------------------------------------	------	------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

保	学校は、授業や行事などの充実のため、保護者や地域住民などの協力を得ようとしていますか。	88%	89%	子供たちの教育は、学校・家庭・地域の三者による適切な役割分担と、密接な連携があってこそ実を結びます。私たちは、学校の情報を丁寧にお伝えし、地域の皆様から「応援したい」「力になりたい」と思ってもらえる学校づくりを目指しています。特に今後は、地域の皆様の豊かな経験や専門的な知識を、ゲストティーチャーや学習支援として授業に活かすなど、地域人材の活用をさらに進めていきたいと考えています。皆様の「力」をぜひ子供たちの学びへお貸しください。今後とも多大なるご協力とともに、よりよい教育活動を共ににつくり上げるための前向きなご意見をいただければ幸いです。
職	教育活動に保護者や地域住民等の人材の協力を得て、効果的に活用していますか。	89%	89%	

IX 施設・設備

職	ICTを活用した授業を日常的に実施するための整備が図られていますか。	94%	89%	学校のICT環境整備は、子供たちの学びを活性化させ、「個別最適な学び」を実現する大きな力となります。設備の充実が学校のみで完結するものではありませんが、現在ある機器を最大限に活用し、これまでに子供たちが意欲的に学習へ取り組める環境づくりを推進していきます。また、校務の情報化による業務の効率化は、教職員の心身のゆとりを生むだけでなく、子供たち一人一人へのより手厚い対応へとつながる大切な改革です。今後もICTの積極的かつ効果的な活用を目指し、校内研修や自己研鑽を通じて、指導力と支援体制の向上に努めていきます。
職	校務の効率化を図るために情報整備に努めていますか。	89%	89%	